



編集・発行

十日町情報館・NPO法人らいぶフォーラム
〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1
TEL／025-750-5100 FAX／025-750-5103

「らいぶフォーラム」は、十日町情報館と図書館分室の図書館サービス業務を受託している市民による非営利団体です。2014年2月にNPO法人となりました。

年末年始休館日のお知らせ



◆◆ 情報館・川西・松代・中里分室 ◆◆

令和7年12月29日(月)～令和8年1月3日(土)

◆◆ その他の分室 ◆◆

令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)



- 12月15日(月)～28日(日)までの間、貸出期間は休館中の6日間分が延長されます。
- 休館中のブックポストはご利用いただけません。ご不便をおかけいたしますが、休館明けのご返却をお願いします。

楽しいイベント



おはなしピヨピヨクリスマススペシャル ゆきだるまつくろう！

クリスマスにぴったりな絵本の読み聞かせと、毛糸を使った楽しい工作をします。

日 時／12月21日(日) 午後2時～3時30分

会 場／第3集会室

対 象／幼児～小学生

参加費／無料

定 員／先着15人(要事前申し込み)

申込み／館内の申込用紙または、電話・FAXでもOKです



ウマくいく！新春福みくじ2026

図書館で新年の運試しはいかがでしょう。

本を借りて、おみくじを引こう！

うれしいおまけ付きです。

日 時／1月4日(日) 開館中

会 場／十日町情報館・川西分室・松代分室

対 象／本を借りた方

参加費／無料

※数量限定、なくなり次第終了です



受賞お知らせ



第28回日本自費出版文化賞 地域文化部門 入選！

『節黒城風雲録』 渡辺正範／著

「節黒城跡開山祭り」50周年記念事業実行委員会／編 2024.10

鎌倉時代末の1333(元弘3)年、討幕の旗を挙げた新田義貞のもとに真っ先に馳せ参じ、その中核となったのが大井田經隆を中心とする越後妻有の新田里見一族でした。その後の1352(正平7)年、義貞の跡を継いだ新田義宗により築かれたといわれるのが節黒城です。

節黒城跡保存会の50周年記念事業として、『節黒城風雲録～歴史を動かした越後妻有～』が刊行されました。著者は教育長でもある渡辺正範氏です。愛知大学文学部の山田邦明教授(市内仁田出身、日本中世史専攻)は、「政治情勢や地域の文化などにも目を向け、新たな知見をふんだんに盛り込んだ大著」と評しています。情報館の地域資料コーナー、各分室に所蔵しています。



第79回読書週間に係る第58回優良読書グループ県表彰！

子育てネットワークおはなし「たまてばこ」

平成14年に発足され、絵本や手遊びなどを親子で楽しむ「おはなし会」や十日町市ブックスタート事業である10か月児健診での読み聞かせなどを実施されています。また、情報館のイベントや地域の学校・保育施設などにおいても幅広く活動されてきた功績に対し、表彰されました。



105回名作読書講座

『夕鶴』木下順二／著

人の心の真実を求めて女人に化身した鶴の悲しい愛と失意の嘆きを抒情豊かに描く。

日 時／12月14日(日) 午後2時～3時15分

会 場／第1集会室

対 象／中学生以上

講 師／庭野三省さん

定 員／25人(申込み不要)



『夕鶴・彦市ばなし』
木下順二／著 新潮文庫

12月のおはなし会

◆情報館

- (内は対象)
6日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児) 午前10時30分～11時
13日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
20日(土)／読み聞かせの会 どんぐり (幼児～小学校低学年)

◆川西分室

- 27日(土)／おはなし「たまてばこ」(乳幼児)
20日(土)／おはなしの会「ふきのとう」 (乳幼児～小学校3年生くらい)



◆松代分室

- 13日(土)／おはなしたんぽぽ(幼児～小学校低学年)

子ども読書活動推進コーディネーター
林 篤子

本のちから(21)

全国学校図書館協議会の調査によると、今年5月の1か月間、本を1冊も読まなかった子どもの割合は小学生が9.6%、中学生が24.2%、高校生が55.7%で、小学生は4年連続、中高生は2年連続の増加だそうです。同協議会の磯部延之調査部長は、小学生の不読率増加の要因について、1人1台の学習端末の配備を進めた政府の「GIGAスクール構想」の影響と朝読書の廃止の2点を挙げており、教科書や本をじっくり読んで考える授業から、端末を使い短時間に答えを見つけるタイムパフォーマンス(時間対効果)重視の授業が行われるようになっていると言っています。

変わりゆく環境に、子どもたちは大きな影響を受けていると感じています。未熟で成長過程にある子どもたちは、風のにおいを感じたり、季節が巡っていくことを感じたりしながら、ゆったりと過ごしてほしいと願います。考える力は、豊かな時間と環境の中で思いを巡らせて考える経験を積み重ねてこそ、育まれると思うからです。少しでも多くの本に触れてほしいとの思いから、情報館から子どもたちへ、朝の読み聞かせをはじめ、様々な方法で本を届けています。

☆忙しい日々を過ごす、子どもや大人には是非出会ってほしい本を紹介します。

『かぜは どこへいくの』

シャーロット・ゾロトウ／さく ハワード・ノッツ／え まつか きょうこ／やく 偕成社



夕暮れ時、空の色が青からピンクへ、そして不思議な紫色に変わっていきました。お日さまが金色の雲の中に隠れていく景色を眺めながら、男の子は昼がおしまいになって残念だなと思います。

男の子は、昼が終わったらお日さまはどこへ行ってしまうのか、風はやんだらどこへ行くのか、降った雨の水はどこへいくのか、知りたいことがたくさんあります。その問い合わせに、お母さんは一つ一つ丁寧にこたえます。昼はおしまいになったわけではなく、お日さまは別のところを照らし、そこでは昼が始まり、風は遠くへ吹いて行って、どこかでまた木を揺らすのだと。

この世のものは、おしまいになってしまふものは何もなく、別の所でふたたびちがった形で始まり、ずっと続いているのだと男の子が納得したころ、日はすっかり沈み、夜が始まっていました。男の子は明日の朝、またお日さまが照らしてくれて新しい1日が始まることに希望をもちながら、安心して眠りについたことでしょう。

I F児童コーナー、子ども読書活動推進コーディネーターの本棚にあります。

12月のテーマ図書

- 一般向け
- ・ミステリー
- ・プレイバック 2025



- 児童向け
- ・メリークリスマス
- ・プレイバック 2025

12月20日(日)は
家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。



ホームページ

Instagram

十日町情報館

●開館時間 午前9時～午後7時 ●休館日 第2・第4月曜日、特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)

各分室の開館カレンダーは、十日町情報館「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。